

―精密・電子セグメントは好調な前期より「K3」などの投資計画受注が落ち込んでいますが、長期見通しは。

「需要や設備投資が落ちていくから」と言っ

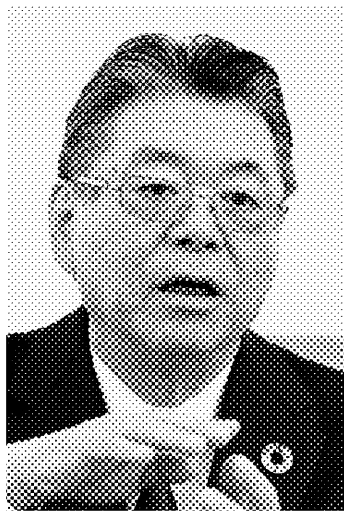
「半導体市場では、メモリ在庫が掃くのに時間がかかっている。ロジックの方は比較的落ち込みが小さく、回復も早いだろう。半導体受託製造（ファウンドリー）が生成人工知能（AI）用の画像処理半導体（GPU）を手がけているためだ。当社は化学機械研磨（CMP）装置をファウンドリーに納めており、生成AI関連需要の効果が間違いなくある」

―熊本県南関町のC

VISION

展望 2024

荏原社長 浅見 正男氏



ロセスや装置を開発するため、神奈川県藤沢市には開発棟も建設しており、25年夏に竣工予定だ」

―エネルギーセグメントは液化天然ガス（LNG）向けなど受注が好調です。

「LNG向けは、62度C対応のクライオエニックスポンプがあり、コンプレッサー・タービンはエチレンプラント向けの方が強い」

―LNGの知見を基に水素を事業化する計画で、液化水素昇圧ポンプを開発しました。

「LNG、液化窒素と低温のものをポンプで送る、圧力を上げることに強みがある。液化水素昇圧ポンプは世界で初めて開発し、引き合いが来ている。液化アンモニアポンプも

ポンプで水素社会に貢献

―既存エネルギーと水素などを将来はどう両立しますか。

「水素などに置き換

開発し、納入が決まっている。エネルギーランジョン（移行）30年では大きく落ちない。サービスやサポートを続ける」

記者の目

半導体市場は今後も成長が見込まれ、荏原が同水準で成長できなければシェアを落とすことになる。投資効果を十分発揮できるかが重要な。水素の実用化では多くの企業によりサプライチェーン（供給網）が構築される。ポンプは水素を発電などで使うために不可欠で、荏原は水素社会のキープレイヤーになり得る。

（戸村智幸）

キープレイヤーつかむ時